



南城市民音頭

作詞 ひがしおんな もりお 東恩納 盛雄
 作曲 ふくはら つねき 普久原 恒勇

1. あがりゆまじり あさひ 東四間切 朝日がのぼり
ひろ うみ ゆめ さ 広がる海に 夢が咲く
みどり たいよう はな みどり 太陽 花咲くまちは
こころ こころ 心と心 つなぐまち
なんじょう うみ さと ここは南城 海の郷

* ユイヤナー ハイヤナー

すり うた うどう しんかうち揃てい 歌い踊らな
 ～「以下*印 囃子省略」～

2. ぐすく れきし 城ロードに 歴史をたずね
す えが おさ 住みよいまちに 笑顔咲く
むかし いしだみみち 昔なつかし 石畳道
いま むかし みち 今と昔を つなぐ道
なんじょう かせ さと ここは南城 風の郷

～「*囃子省略」～

3. わきで みず きぼう 湧き出る水に 希望もあふれ
めぐ だいち なぎさく 恵みの大地 情咲く
こころ いぶき 心ゆたかに 息吹もつよく
ゆめ う 夢を植えよう このまちに
なんじょう みず さと ここは南城 水の郷

～「*囃子省略」～

4. まちは みどり は のびゆく街に 緑も映えて
へいわ まちは あい さ 平和なまちに 愛も咲く
おお ゆめ みらい 大きな夢は 未来へつづく
しあわ まね しんわ ち 幸せ招く 神話の地
なんじょう かみ さと ここは南城 神の郷

～「*囃子省略」～



なんじょうおんど
南城市民音頭

